

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第160号	氏名	國崎 真己
学位審査委員	主査 松山 俊文 副査 伊藤 敬 副査 兼松 隆之		
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価</p> <p>遺伝子の転写制御には種々のヒストン蛋白質修飾酵素が大きな役割を果たしていることが明らかにされつつあるが、それらの酵素のヒストン蛋白質以外への働きは未だ不明のままである。<u>SMYD3</u> は最近同定されたヒストン H3 の4番目のリジン残基のメチル化酵素で種々の癌での細胞増殖に深くかかわっていると考えられている。本研究では SMYD3 の新たな標的分子を癌にかかわるノンヒストン蛋白質の中から探索しようとしたものであり目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価</p> <p>現時点の技術では蛋白質のメチル化についての網羅的解析は困難であるので本研究では癌にかかわることが知られている遺伝子群に焦点を絞り、クローニングした組換え蛋白質への SMYD3 のメチル化修飾活性を指標に候補蛋白質の探索を行った。その結果得られた VEGFR1 についてメチル化部位の同定、同定したメチル化部位 831 特異的抗体作成による細胞レベルでのメチル化の証明、さらに VEGFR1 のメチル化による細胞増殖の影響についての検討を行った。これらの研究手法は目的に沿った妥当なものである。</p>			
<p>3. 解析・考察の評価</p> <p>本研究から、SMYD3 にはノンヒストン蛋白質である VEGFR1 のメチル化修飾活性があり生理的意義を持つことが示された。これらの研究成果は今後の発展が大いに期待できるものであり、審査員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			